

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504343(P2005-504343A)

【公表日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-006

【出願番号】特願2003-531247(P2003-531247)

【国際特許分類】

**G 02 B 5/30 (2006.01)**

**G 02 F 1/1335 (2006.01)**

【F I】

G 02 B 5/30

G 02 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 第1のコレステリック液晶材料を含む複数の第1の粒子と、

(b) 前記複数の第1の粒子と一緒にになって構造体を形成する第2のコレステリック液晶材料とを含む光学体であって、前記第1のコレステリック液晶材料が前記第2のコレステリック液晶材料とは異なるピッチを有する光学体。

【請求項2】

前記第2のコレステリック液晶材料が、複数の第2の粒子として分散されている、請求項1に記載の光学体。

【請求項3】

前記光学体が、少なくとも200nmのスペクトル幅を有する光を反射する、請求項1に記載の光学体。

【請求項4】

前記第1のコレステリック液晶材料の前記粒子が、前記第2のコレステリック液晶材料と部分的に拡散されている、請求項1に記載の光学体。

【請求項5】

前記構造体中に配置された第3のコレステリック液晶材料をさらに含み、前記第3のコレステリック液晶材料のピッチが、前記第1および第2の液晶材料のピッチとは異なる、請求項1に記載の光学体。

【請求項6】

(a) 第1のコレステリック液晶材料を含む複数の第1の粒子と、

(b) 前記複数の第1の粒子と一緒にになって構造体を形成する第2のコレステリック液晶材料とを含む反射型偏光子であって、前記第1のコレステリック液晶材料が前記第2のコレステリック液晶材料とは異なるピッチを有する偏光子。

【請求項7】

(a) 第1のコレステリック液晶材料を含む複数の第1の粒子と、

(b) 前記複数の第1の粒子と一緒にになって構造体を形成する第2のコレステリック液晶材料とを含むとともに、前記第1のコレステリック液晶材料が前記第2のコレステリック

ク液晶材料とは異なるピッチを有する反射型偏光子を含む光学ディスプレイ。

【請求項 8】

光学体の作製方法であって、

(a) 第1のコレステリック液晶組成物を含む複数の第1の粒子を基板上に配置するステップと、

(b) 第2のコレステリック液晶組成物を前記基板上に配置して、前記第1のコレステリック液晶組成物と一緒に構造体を形成するステップと、

(c) 前記第1および第2のコレステリック液晶組成物を、それぞれ第1および第2のコレステリック液晶材料に変換させるステップとを含む方法であって、前記第1のコレステリック液晶材料が前記第2のコレステリック液晶材料とは異なるピッチを有する方法。

【請求項 9】

第3のコレステリック液晶組成物を配置し、前記第1および第2のコレステリック液晶組成物と一緒に構造体を形成することをさらに含み、前記第3のコレステリック液晶組成物が、前記第1および第2のコレステリック液晶材料のピッチとは異なるピッチを有する第3の液晶材料に変換される、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記第1および第2のコレステリック液晶組成物を加熱し、前記第1および第2のコレステリック液晶組成物間で拡散をおこすことをさらに含む、請求項8に記載の方法。